

「ほべつ道民の森」で実施した自然観察会 Nature observations in the forest of Hobetsu.

櫻井 和彦

Kazuhiko SAKURAI

伊藤 あゆ子

Ayuko ITO

高橋 義道

Yoshimichi TAKAHASHI

穂別町立博物館, 北海道勇払郡穂別町字穂別 80 番地 6

Hobetsu Museum; 80-6, Hobetsu, Hobetsu, -cho, Yufutsu-gun, Hokkaido, 054-0211 Japan

Abstract

Hobetsu Museum introduces the geological history of Hobetsu based on fossils. Because many fossils, especially marine reptiles and mollusca, have been found from Cretaceous beds in this area. However, Hobetsu has also abundant nature. Recently, we took place some observations of nature in the forest near the museum. This is a report about the events.

Key words- Hobetsu Museum, museum activity, nature observation

(2003 年 1 月 20 日受付)

はじめに

穂別町立博物館は、穂別町の化石と地質を紹介する博物館である。専門分野である化石を題材とした普及事業はこれまでも実施してきたが、特に近年では化石のみならず、身近な素材に着目して、地質観察、自然観察も加えた事業を実施している(詳細は櫻井, 2003)。その一方で、豊かな自然が身近にあることに気づいてもらおうと、博物館に隣接する「ほべつ道民の森」にて自然観察会を実施した。特に 2001 年度は 5 月～10 月の毎月一回実施し、季節の変遷による森の変化を知ってもらうことを目指した。

本報告では、2000 年～2002 年度に「ほべつ道民の森」にて実施した自然観察会について概要を紹介する。また、巻末には、事業実施の事前調査で得られた成果について添付してある。

I ほべつ道民の森

「ほべつ道民の森」は、穂別町市街地西部の住宅

地に隣接する道有林内に位置し、穂別町立博物館の極めて近傍にある。穂別町の誇る豊かな自然を活かした保全林整備と周辺の施設が一体となった“いこいの森”として利用者の心身の健康保持を期待するとともに、森林の造成・改良による土砂流出の防備、水源涵養等の国土保全機能の拡充を図ることを目的とし、保健休養型保全林として整備された。1995 年に開園。面積は約 60ha。(位置は図 1)

植生は、北海道の山地斜面の広葉樹を代表するエゾイタヤシナノキ群落の天然林が林内の大部分を占める。具体的には、イタヤカエデ、ミズナラ、シナノキ、アズキナシ、アザダ、ヤマモミジが多く、特に大木として、胸高直径 50～100cm のミズナラや、その他ヤマモミジ、サクラ、ハリギリなどが見られる。また、一部、ヨーロッパアカマツとトドマツの人工林もある。(以上、整備計画の資料による)

II 自然観察会 実施報告

2000 年～2002 年度に実施した自然観察会について概要を紹介する。本報告で取り上げた自然観察会

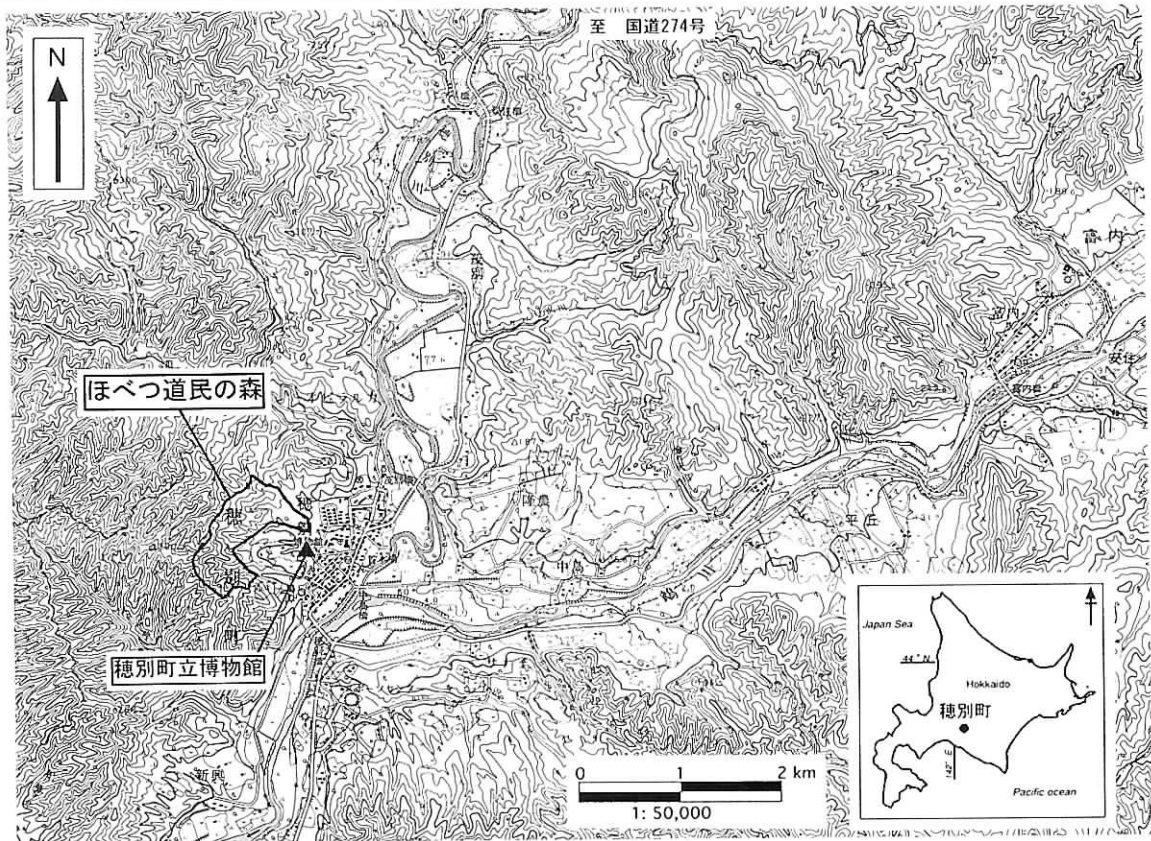


図1 「ほべつ道民の森」位置図
国土地理院発行5万分の1地形図「穂別」を使用。

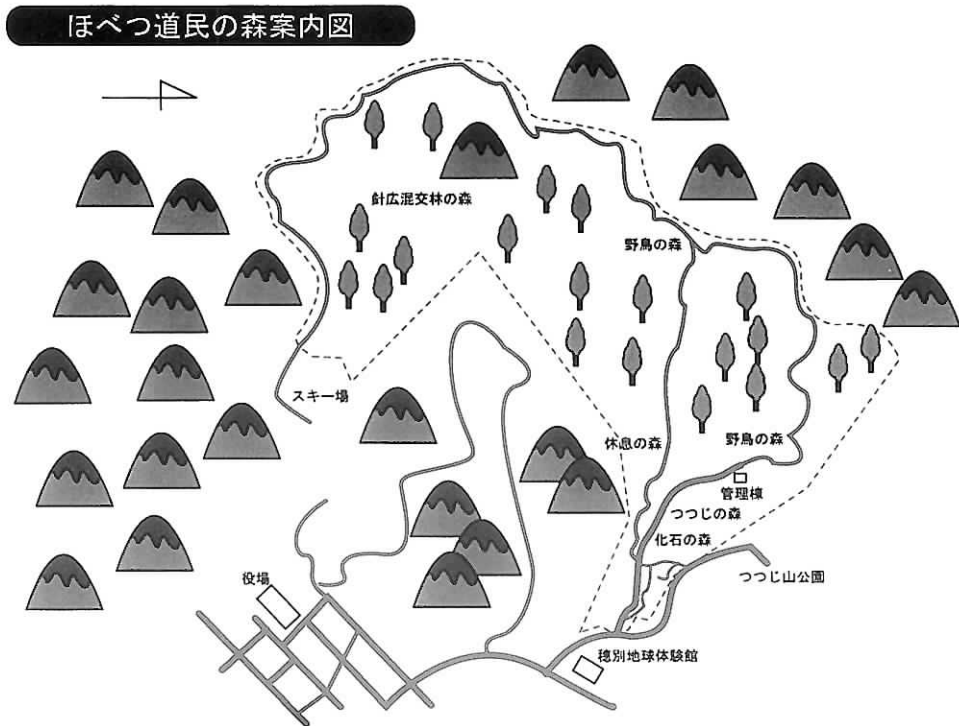


図2 「ほべつ道民の森」案内図
穂別町役場農林商工課商工観光担当の提供による。

は「ほべつ道民の森」を会場とし、入口から林内にある管理小屋までの遊歩道沿いを中心に実施した（範囲については図5～7を参照）。事業によっては管理小屋を会場に利用した場合もある。また、「ほべつ道民の森」入口手前には「ライオンズの広場」と呼ばれる広場があり、参加者の集合場所や観察会の活動場所として活用した。雨天等によって野外で実施できずに、室内活動となった場合もある。事業実施については、伊藤が基本的に担当し、特に記載のない場合は当日の案内も本人が担当した。

1. 2000年度

2000年度は2回の自然観察会を実施した。

(1)「春の森探検」

実施日 2000年4月22日

会場 穂別町立博物館

内容 早春の穂別の森を観察する予定であったが、雨天により室内にて実施。

参加者 大人2人、小人12人

備考 町教育委員会「土よう日の集い」に協力。

(2)「きのこウォッチング」

実施日 2000年10月1日

会場 ほべつ道民の森、管理小屋

講師 成田公司氏（北海道キノコの会インストラクター）

内容 キノコの採集と鑑定。キノコを採集しながら林内を歩き、管理小屋にて講師による解説。44種類のキノコを確認できた。

参加者 大人9人、小人6人

2. 2001年度

2001年度は「ほべつの森の観察会」として6回、その他3回の計9回の自然観察会を実施した。

(1)「春の森探検」

実施日 2001年4月28日

会場 ほべつ道民の森

内容 木の落ち葉、動物の糞・足跡からわかることを通じて森を知る。

参加者 大人2人、小人8人

備考 町教育委員会「土よう日の集い」に協力。

(2)第1回ほべつの森の観察会「春の野の花ウォッチング」

実施日 2001年5月13日

会場 ほべつ道民の森

内容 シロバナエンレイソウなど春の植物、イタヤカエデなど樹木の葉の広がり方、野鳥の観察。

参加者 大人2人

(3)第2回ほべつの森の観察会「新緑の森へ行こう」

実施日 2001年6月17日

会場 ほべつ道民の森

内容 ミズナラ（未開花）・ホオノキ、ランの花の他、エゾリスやクマゲラを観察。

参加者 大人4人、小人4人

(4)第3回ほべつの森の観察会「夏の虫」

実施日 2001年7月20日

会場 ほべつ道民の森、穂別町立博物館

講師 柏崎 昭氏（道職員、日本鞘翅学会会員）

内容 野外で、草につく虫と木につく虫の比較、水生昆虫の観察。博物館内で、昆虫の話の後、双眼実体顕微鏡を用いて昆虫の観察。

参加者 大人5人、小人17人

(5)第4回ほべつの森の観察会「すぎゆく夏の森へ行こう」

実施日 2001年8月26日

会場 ほべつ道民の森

内容 秋の七草やランの花、ドングリの観察。また、果実の特徴を通じて植物の生き残り戦略を学ぶ。

参加者 大人3人

(6)第5回ほべつの森の観察会「きのこウォッチング」

実施日 2001年9月9日

会場 穂別町立博物館

講師 成田公司氏（北海道キノコの会インストラクター）

内容 雨天により、室内にてスライドによるキノコの話と、講師が事前に採取したキノコの観察。

参加者 大人7人

(7)穂別町商工会青年部「自然観察会」

実施日 2001年9月16日

会場 ほべつ道民の森

内容 落ち葉、果実、キノコなどの様々な色をさがして、自然について知る。

参加者 大人6人、小人2人、幼児1人

備考 穂別町商工会青年部の研修会として実施。

(8)第6回ほべつの森の観察会「紅葉の森へ行こう！」

実施日 2001年10月14日

会場 ほべつ道民の森

内容 落ち葉の様々な大きさ、形、色、手ざわりの違いを知る。自分の「秋」を見つけ、互いに紹介。

参加者 大人2人、小人12人

(9)胆振管内社会教育行政担当者研修会「体験学習」

実施日 2001年10月23日

会場 ほべつ道民の森

内容 落ち葉、葉を落とした枝、果実などの観察を通して晩秋の森、穂別の森を知る。

参加者 大人15人

備考 平成13年度胆振管内社会教育行政担当者

研修会として実施。

3. 2002 年度

2002 年度は 2 回の自然観察会を実施した。なお、この他にも「ホッピー探検隊 2002」として林内で観察会を実施している（詳細は櫻井, 2003）。

(1) ほべつの森の観察会「夏の虫」

実施日 2002 年 8 月 4 日

会場 町内公共施設, ほべつ道民の森

講師 柏崎 昭氏 (道職員, 日本鞘翅学会会員)

内容 室内でクワガタや昆虫についての話の後, 野外でセミやカミキリムシなど昆虫の観察。

参加者 大人 2 人, 子ども 12 人, 幼児 1

(2) ほべつの森の観察会「きのこウォッチング」

実施日 2002 年 9 月 29 日

会場 ほべつ道民の森, 管理小屋

講師 成田公司氏 (北海道キノコの会インストラクター)

内容 キノコを通して穂別の森の豊かさを知る。キノコを採集しながら林内を歩き, 管理小屋にて講師による解説。51 種類のキノコを確認。

参加者 大人 9 人, 小人 2 人

備考 「平成 14 年度穂別高等学校開放講座」と共催で実施。



図 3-1 「キノコウォッチング」(2000. 10. 1)



図 3-2 「新緑の森へ行こう」(2001. 6. 17)



図 3-3 「夏の虫」(2001. 7. 20)



図 3-4 「自然観察会」(2001. 9. 16)



図 3-5 「紅葉の森へ行こう！」(2001. 10. 14)



図 3-6 「夏の虫」(2002. 8. 4)

図 3 自然観察会の実施状況

IV まとめ

本報告で紹介した自然観察会は、「ほべつ道民の森」の入口から管理小屋までの遊歩道約 600m の周辺を範囲として実施されたものである。遊歩道の総延長は約 3,750m に及ぶため、そのごく一部分でしかない。市街地に隣接する位置にありながら、ミズナラ、コナラ、イタヤカエデ、ヤマモミジ等の大木を有し、林床に多くの草本が混生し、そして天然記念物に指定されているクマゲラも確認できたということは非常に貴重なことである。このように多種多様な植生があり、豊かな自然が身近にあるということ、何よりもこの町で生活する一人一人に実感してもらいたい。化石や地質という「過去の自然」を通じて穂別の地史を紹介する博物館として、「今の自然」も知ってもらふ必要性を強く感じている。

補 足

クマゲラについては、3年ほど前からつがいで生息していることを確認し、年数回程度であるがその姿は見かけていた。2001年には営巣および巣立ちを確認している。2002年については、積極的な調査が実施できなかったため、生息についても確認できていない。

謝 辞

「穂別町自然を守る会」会長の笠巻 袈裟男氏には、町内の植物全般について広くご指導頂いた。博物館協会の小山タエコさんには、植物について色々ご教示頂き、事業にも参加して頂いた。その他、観察会の参加者については、一人一人から貴重なご意見を頂いた。

「ほべつ道民の森」に関する資料については、穂別町役場農林商工課の林務担当者および商工観光担当者に便宜を図って頂いた。

以上の方々に心より御礼申し上げる次第である。

文 献

櫻井 和彦, 2003. 穂別町立博物館における地域素材の活用例-「富内イギリス海岸」, 「穂別の川原の石」, 「ホッピー探検隊」-. 穂別町立博物館研究報告, 第18号, p.1-20.

本報告で用いている植物の和名については、基本的に鮫島・辻井・梅沢(1993)に基づいている。その他、調査等で参考にした文献について以下に示す。

- 林 弥栄(編), 1983. 日本の野草. 山と溪谷社. 719pp.
 片桐啓子, 1995. 山野草. 西東社. 382pp.
 北村四郎・村田 源, 1961. 原色 日本植物図鑑(中). 保育社. 390pp.
 北村四郎・村田 源・堀 勝, 1957. 原色 日本植物図鑑(上). 保育社. 297pp.
 北村四郎・村田 源・小山鐵夫, 1964. 原色 日本植物図鑑(下). 保育社. 464pp.
 松原滋樹, 2000. ののくさばな(春~初夏). 旺文社. 127pp.
 松原滋樹, 2000. ののくさばな(夏~秋). 旺文社. 127pp.
 佐竹義輔・大井 次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(編), 1981. 日本の野生植物 草本 III 合弁花類. 平凡社. 259pp.
 佐竹義輔・大井 次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(編), 1982. 日本の野生植物 草本 I 単子葉類. 平凡社. 305pp.
 佐竹義輔・大井 次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(編), 1982. 日本の野生植物 草本 II 離弁花類. 平凡社. 318pp.
 鮫島淳一郎, 辻井達一, 梅沢 俊, 1993. 新版 北海道の花<増補版>. 北海道大学図書刊行会. 375pp.
 鈴木 道智生, 1996. 野草の花図鑑「春」. スコラ. 250pp.
 谷口弘一・三上 日出夫(編), 1989. 新版 北海道の植物(野の花 上). 北海道新聞社. 309pp.
 谷口弘一・三上 日出夫(編), 1989. 新版 北海道の植物(野の花 下). 北海道新聞社. 334pp.
 梅沢 俊・村野道子, 1997. 北海道初夏の花 -絵とき検索表. エコ・ネットワーク. 56pp.
 梅沢 俊・村野道子, 1998. 北海道春の花 -絵とき検索表II. エコ・ネットワーク. 56pp.
 梅沢 俊・村野道子, 2001. 北海道夏~秋の花 -絵とき検索表III. エコ・ネットワーク. 72pp.

櫻井和彦・伊藤あゆ子・高橋義道, 2003, 「ほべつ道民の森」で実施した自然観察会. 穂別町立博物館研究報告, 18, 21-32.

Kazuhiko SAKURAI, Ayuko ITO and Yoshimichi TAKAHASHI, 2003, Nature observations in the forest of Hobetsu. *The Bulletin of the Hobetsu Museum*, 18, 21-32.

(要 旨)

穂別町立博物館は、穂別町の化石と地質を紹介する博物館である。専門分野である化石を題材とした普及事業はこれまでも実施してきた。その一方で、豊かな自然が身近にあることに気づいてもらおうと、博物館に隣接する「ほべつ道民の森」にて自然観察会を実施した。2000年~2002年度に「ほべつ道民の森」にて実施した自然観察会について概要を紹介する。

(付録) 調査結果

以上紹介した観察会の事前調査を通じて得られた成果をここに報告する。

前述の通り自然観察会は2000年度から2002年度にかけて計13回実施され、その事前調査および当日に調査を実施している。本報告は、その中で2001年度に実施した「ほべつの森の観察会」の調査を通じて得られた結果に、主として基づいている。

観察会場となる遊歩道とその周辺を中心に、植物の開花・結実状況の他、野鳥や昆虫などについても状況を記録した。「キノコの観察会」「昆虫の観察会」などの事前調査では、それぞれ目的に応じた調査を実施したが、今回はその中から、主に草本に関する調査結果を報告する。

「ほべつ道民の森」での植生調査の報告としては不十分であることは承知しているが、学術調査に向けての参考資料、もしくは自然観察にあたっての手引きとなれば幸いである。

なお、調査は、基本的に伊藤（博物館普及員として配属）と高橋（学芸補助員として配属）の両名にて実施した。

1. 調査地域

「ほべつ道民の森」の入口から管理小屋までの遊歩道沿い約600mを中心とする範囲。図1・2、5～7を参照。

調査の便宜上、森の入口から遊歩道沿いに50mごとに区切り、調査地域を12のゾーンに区分した。調査結果の中では、ゾーン1～ゾーン12と記述してある。各ゾーンの特徴について概略する。

ゾーン1～2 緩い東向き斜面

ゾーン1～5 コナラ、ミズナラ、イタヤカエデ、エゾヤマザクラ、シナノキなどの高木層が多い。特にゾーン1～3の南側は林冠が閉鎖し、ササも少ないため多種類の草本が林床を覆っている。

ゾーン6～9 東向き斜面。林内で最も緩傾斜である。北側（入口を背にした場合、遊歩道の右側）は高木は少なく陽当たりが良い。開園（1995年）に向けて整理伐・植栽がされたためである。2001年までは保育事業としての下刈りが実施されていた。

ゾーン10～12 東向きの傾斜地。イタヤカエデを優先種とし、ヤマモミジ、ミズナラ、アサダ、アズキナシ、サワシバ等の高木層の多い天然広葉樹林。

2. 調査結果

2001年度の調査から10日間を選び、確認できた草本の状況について整理した結果を「観察記録集計

表」（表1）および「植物分布集計表」（表2）として示す。また、春・夏・秋それぞれの季節ごとに確認できた草本について地図上に示した（図5～7）。

(1) 「観察記録集計表」

種類ごとの開花・結実状況を表1に示す。調査地域では、57種類の草本を確認した。

(2) 「植物分布集計表」

ゾーン別に確認できた種類について表2に示す。

ゾーン1で最多の22種類が確認できた。逆に、ゾーン8では1種類しか確認できなかった。概観すると、ゾーン1～4、11の種類数が多い。これらの区域は、林冠が閉鎖しているため2000年以降は下刈りを実施していない。その他のゾーン5～10は2001年も下刈りを実施している。

最も広範囲に分布するのはゲンノショウコで、ゾーン1～9の9カ所で確認された。

(3) 春・夏・秋の花

季節別に見られる主な植物について、図5～7に示す。植物名の番号は、表1・2とも対応している。

春の花（4～6月） カタクリ、シロバナエンレイソウ、オオアマドコロ、ユキザサ（アズキナ）、ササバギンラン、コケイラン、コウライテンナンショウ、クマイチゴなど。ゾーン1～2と11～12で見られる。

夏の花（7～9月） イチヤクソウ、ゲンノショウコ、シラヤマギク、ミズヒキ、アキノキリンソウ、キンミズヒキ、オトコエシ、オオハンゴンソウ、コウゾリナなど。ゾーン1～5、7などで見られる。

秋の花（9～10月） ヒメジョオン、ユウゼンギク、アカツメクサ、ヤマハハコなど。ゾーン2、4、7などで見られる。



図4-1 「ほべつ道民の森」入口



図4-2 管理小屋



図4-3 ゲンノショウコ



図4-4 オオアマドコロ



図4-5 ササバギンラン



図4-6 コウライテンナンショウ



図4-7 フタリシズカ



図4-8 ヤマシャクヤク

図4 「ほべつ道民の森」の紹介

	和名	4/24	5/13	6/14	6/17	8/24	8/26	9/16	10/12	10/14	10/23
1	アズマイチゲ		○								
2	ナニワズ	○									
3	エゾエンゴサク	○	○								
4	カタクリ	○	○×		◆						
5	ヒメイチゲ		○								
6	シロバナエンレイソウ		○		◇						
7	オオバナノエンレイソウ		○								
8	スズラン				×						
9	サッポロソゲ		○								
10	オオアマドコロ			◆○	×						
11	ユキザサ (アズキナ)			◇	◇	◇	◇				
12	ササバギンラン			○	○						
13	クマガイソウ			×							
14	コケイラン			○	○	◆	◆				
15	フタリシズカ				○						
16	クルマバソウ			○							
17	コウライテンナンショウ			○	○						
18	コンロンソウ			○							
19	クマイチゴ		×	×		◆	○				
20	オオヤマノフスマ			○	○						
21	オククルマムグラ			○	○						
22	ギンリョウソウ			○	○						
23	ヘビイチゴ			○							
24	ワニグチソウ				△						
25	イチヤクソウ				△		◇				
26	スズムシソウ			○	○						
27	ヒメジョオン					○			○		○
28	ゲンノショウコ					○	○	○		◆	◆○
29	オカトラノオ					◇	◇				
30	シラヤマギク					○	○	○			
31	ミズヒキ					◇○	◇○				
32	アキノキリンソウ					○	○	○			
33	ヒヨドリバナ					○	○				
34	キンミズヒキ					○◇	○				
35	ハエドクソウ					◇	◇				
36	カノツメソウ					○					
37	キオン					○	○	○			
38	クルマユリ					◇	◇				
39	ヤブマメ					○	○				
40	オトコエシ					○	○				
41	ヤブハギ					○	○				
42	オオハンゴンソウ					○	○				
43	カタバミ					○					
44	ツユクサ					○					
45	コウゾリナ					○			○	○	
46	オオアワダチソウ					○					
47	ヤマシャクヤク					◇	◆	◆		◆	
48	ミヤマウスラ						○				
49	ネジバナ						○				
50	イヌタデ						○				
51	ハナタデ						○				
52	マツヨイグサ						◆				
53	オオシュロソウ						○				
54	ユウゼンキク							○			
55	アカツメクサ								○		○
56	ヤマハハコ									○	
57	メマツヨイグサ										◆

表 1 「観察記録集計表」

△：つぼみ, ○：開花, ×：咲き終わり

◇：若い実, ◆：熟した実

「ほべつ道民の森」で実施した自然観察会

No.	名称 (和名)	ゾーン												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1	アズマイチゲ	○													1
2	ナニワズ			○											1
3	エゾエンゴサク	○													1
4	カタクリ	○	○	○											3
5	ヒメイチゲ					○									1
6	シロバナエンレイソウ	○												○	2
7	オオバナノエンレイソウ													○	1
8	スズラン		○												1
9	サッポロソゲ													○	1
10	オオアマドコロ		○	○											2
11	ユキザサ (アズキナ)	○	○												2
12	ササバギンラン	○		○		○								○	4
13	クマガイソウ													○	1
14	コケイラン	○	○		○									○	4
15	フタリシズカ	○													1
16	クルマバスウ													○	1
17	コウライテンナンショウ		○									○			2
18	コンロンソウ	○													1
19	クマイチゴ		○								○			○	3
20	オオヤマノフスマ		○												1
21	オククルマムグラ		○												1
22	ギンリョウソウ													○	1
23	ヘビイチゴ													○	1
24	ワニグチソウ	○													1
25	イチヤクソウ	○	○												2
26	スズムシソウ	○													1
27	ヒメジョオン	○		○	○						○				4
28	ゲンノショウコ	○	○	○	○	○	○	○	○						9
29	オカトラノオ	○													1
30	シラヤマギク	○	○		○	○	○								5
31	ミズヒキ	○	○		○										3
32	アキノキリンソウ	○		○											2
33	ヒヨドリバナ	○													1
34	キンミズヒキ	○			○										2
35	ハエドクソウ	○													1
36	カノツメソウ	○													1
37	キオン		○												1
38	クルマユリ		○												1
39	ヤブマメ		○	○											2
40	オトコエシ			○											1
41	ヤブハギ			○				○		○					3
42	オオハンゴンソウ				○										1
43	カタバミ						○								1
44	ツユクサ							○		○					2
45	コウゾリナ							○		○	○				3
46	オオアワダチソウ									○					1
47	ヤマシャクヤク												○	○	2
48	ミヤマウスラ		○												1
49	ネジバナ				○										1
50	イヌタデ				○										1
51	ハナタデ				○										1
52	マツヨイグサ					○									1
53	オオシュロソウ													○	1
54	ユウゼンキク		○												1
55	アカツメクサ				○			○			○				3
56	ヤマハハコ													○	1
57	メマツヨイグサ					○									1
各ゾーンの種類数		22	18	10	11	6	3	6	1	6	3	9	5		

表 2 植物分布集計表

ゾーン別に確認できた種類について示す。図5～7も参照。

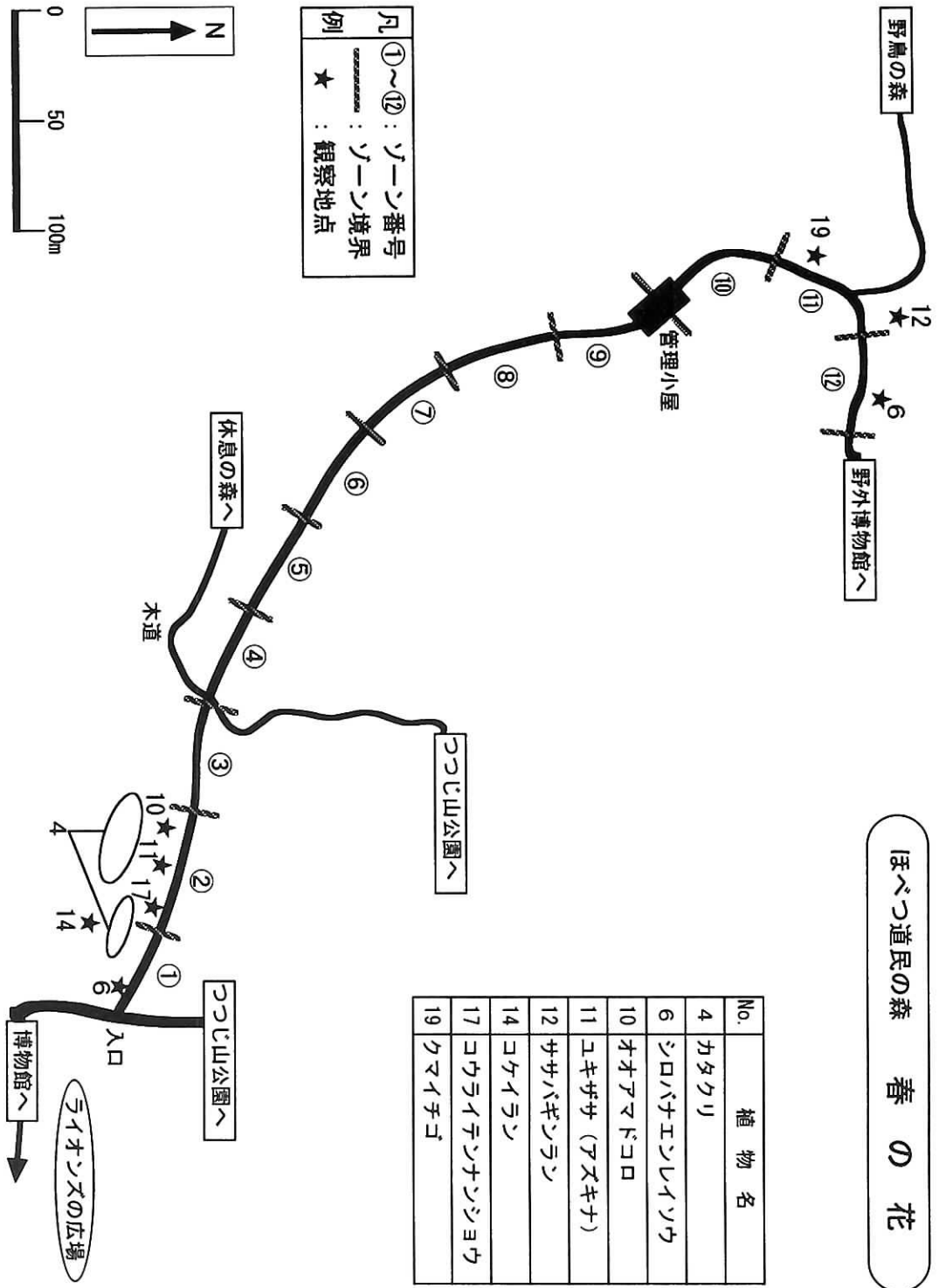


図5 「ほべつ道民の森」春の花 (4~6月)
 植物の番号は表1・2と一致している。

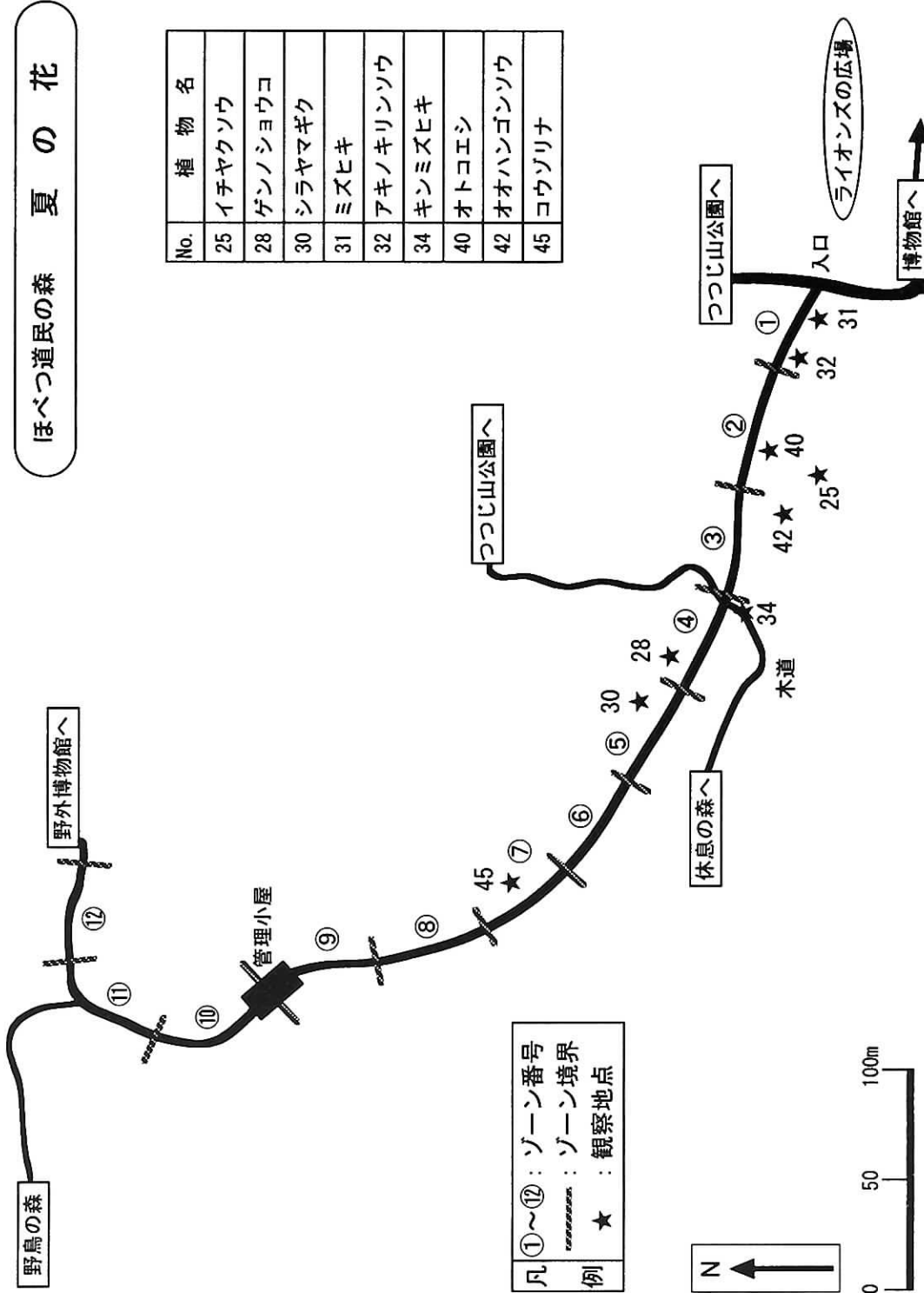


図6 「ほべつ道民の森」夏の花（7～9月）
 植物の番号は表1・2と一致している。

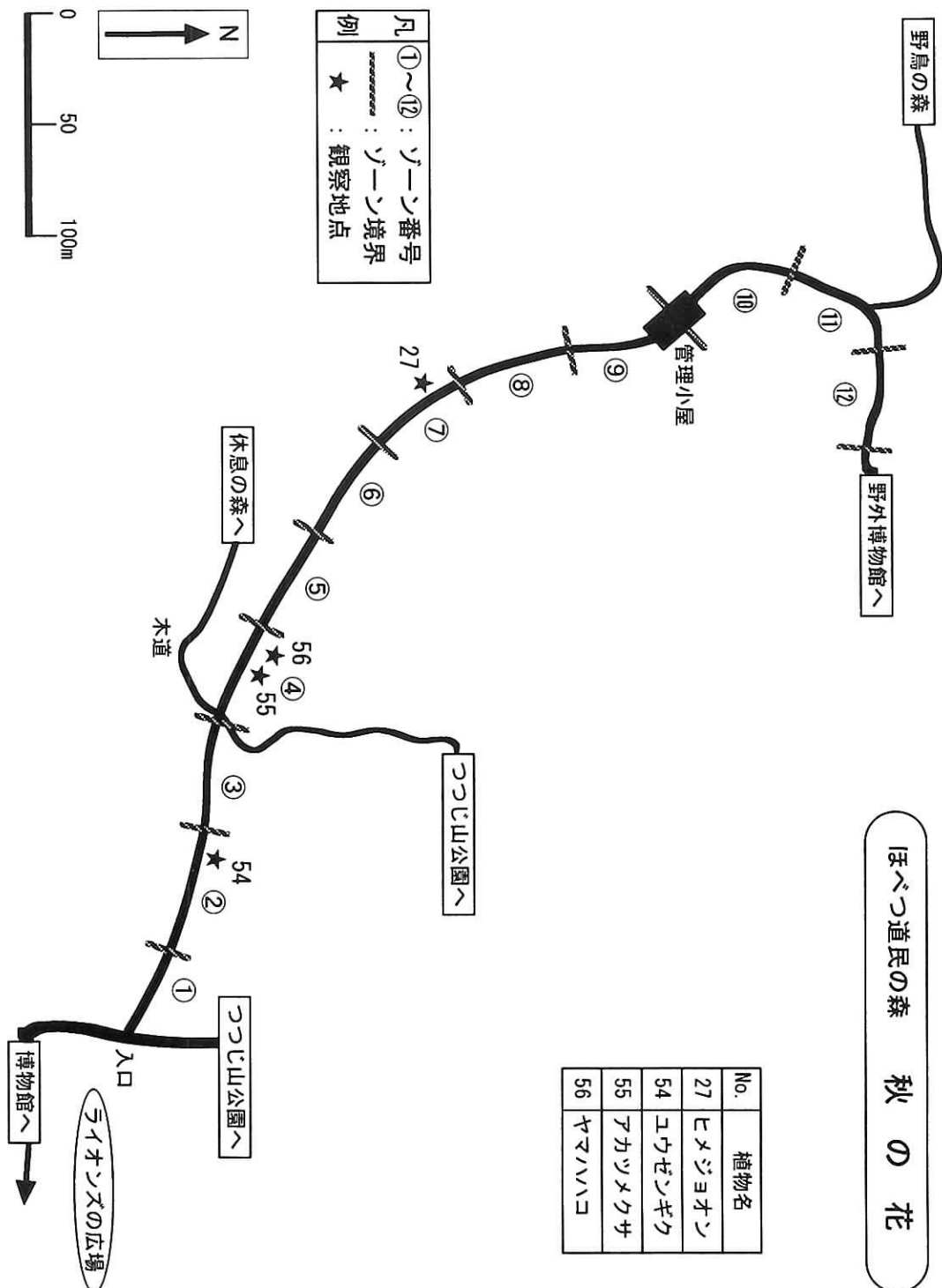


図7 「ほべつ道民の森」秋の花（9～10月）
 植物の番号は表1・2と一致している。